

## 福岡北九州高速道路公社

福岡北九州高速道路公社は、地域の地方的な幹線道路の整備を促進して、交通の円滑化を図り、住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的として、北九州市及び福岡市並びにその周辺地域において指定都市高速道路の建設及び管理等の事業を行っています。

〔設 立〕	昭和 46 年 11 月 1 日
〔所 在 地〕	福岡市東区東浜二丁目 7 番 53 号 Tel 092 - 631 - 3282
〔目 的〕	地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、住民の福祉増進と産業経済の発展に寄与する。
〔事 業〕	北九州市及び福岡市並びにその周辺地域における指定都市高速道路の建設及び維持管理業務等
〔基本財産〕	209,615,600千円 <うち本市出資額 27,684,300千円(13.2%)>
〔決算期〕	毎年3月31日
〔主務官庁〕	国土交通省
〔本市所管〕	建築都市局計画部都市交通政策課 (Tel 093 - 582 - 2518)

### 1 法人の組織

#### (1) 機構図

別図のとおり

#### (2) 役職員数

	人数	平均年齢			
		うち本市出向者	うち本市退職者	うちその他	
役員	7 人	1 人	0 人	6 人	60 歳
職員	203 人	14 人	0 人	189 人	46 歳

#### (3) 役員名

〔理事長〕	田中 康順	(専任)	
〔副理事長〕	欠員		
〔理事〕	古賀 武機	〃	
〔 〃 〕	齊藤 和之	〃	
〔 〃 〕	今任 収治	〃	
〔 〃 〕	廣田 誠秀	(北九州市建築都市局理事)	
〔監事〕	末永 昭夫	(専任)	
〔 〃 〕	(非常勤) 小幡 修	(福岡銀行取締役専務執行役員)	

## 2 事業の概要等

- (1) 福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その通行又は利用について、料金を徴収することができる指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕、道路法第 13 条第 1 項に規定する災害復旧その他の管理。
- (2) 国、地方公共団体、西日本高速道路株式会社又は他の道路公社の委託に基づく、(1)の指定都市高速道路の管理と密接な関連のある道路の管理。
- (3) 福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その利用について料金を徴収することができる自動車駐車場の建設及び管理。
- (4) (1)～(3)までに掲げる業務に附帯する業務。
- (5) (1)～(4)までの業務の遂行に支障のない範囲内で、国、地方公共団体、西日本高速道路株式会社又は他の道路公社の委託に基づく、道路に関する調査、測量、設計、試験及び研究。
- (6) 福岡県知事の認可を受けて、(1)の指定都市高速道路の新設又は改築と一体として建設することが適当であると認められる事務所、店舗、倉庫、その他地方道路公社法施行令第 5 条に定める施設の建設及び管理。
- (7) 福岡県知事の認可を受けて、委託に基づいた(6)の業務。
- (8) 福岡県知事の認可を受けて、(6)及び(7)に掲げる業務に附帯する業務。

上記の業務内容のうち、有料の自動車専用道路を建設する場合には、まず道路法に基づく路線の認定（法第 8 条）自動車専用道路の指定（法第 48 条の 2）道路区域の決定（法第 18 条第 1 項）都市計画法に基づく都市計画の決定（法第 18 条第 1 項）及び都市計画事業の認可（法第 59 条第 2 項）が必要となります。

さらに地方道路公社法に基づく基本計画に対する道路管理者の同意（法第 9 条第 2 項）道路整備特別措置法に基づく指定都市高速道路事業についての道路管理者の同意（法第 16 条）指定都市高速道路に対する国土交通大臣の許可（法第 12 条）を受けなければならないこととなっています。

### <北九州高速道路>〔整備計画〕

路線網の立案にあたっては、都心と市街地周辺との連結及び市内の各拠点間の連絡強化と都市内の交通混雑緩和を図ることを基本方針としています。

北九州市の都心小倉を南北に結ぶ高速 1 号線、小倉と戸畑を結ぶ高速 2 号線、高速 1 号線と高速 2 号線を結ぶ高速 3 号線、門司から八幡を東西に結ぶ高速 4 号線、八幡東区東田地区と高速 4 号線を結ぶ高速 5 号線の 5 路線、全長 49.5km で構成され、高規格幹線道路と連携した放射環状型の自動車専用道路網を形成しています。

#### （高速 1 号線）

小倉南区長野から国道 322 号等の上空を走行し小倉北区下到津に至る 9.2km の路線で、小倉南部の市街地及びその周辺地域と都心との連絡を図るほか、高速 4 号線とは、紫川ジャンクションにて接続し、北九州市の東西地域と小倉との連絡を図るものです。

(高速2号線)

小倉駅から国道199号上空を走行し、戸畑を経て若戸大橋とを結ぶ4.3kmの路線で国道199号のバイパス的役割を果たすとともに、若松、戸畑方面と小倉との連絡強化を図るものです。

(高速3号線)

高速1号線と高速2号線とを愛宕ジャンクションと東港ジャンクションにて結ぶ1.8kmの路線です。

(高速4号線)

門司区春日から小倉北区、八幡東区を経て八幡西区馬場山まで東西に長く走行する31.8kmの路線で各都心の連絡を図るとともに、九州縦貫自動車道との接続により、北九州市と他都市との連絡を図るものです。

この路線は、平成3年3月31日に北九州道路と北九州直方道路を日本道路公団から引継ぎを受けたものです。

(高速5号線)

八幡東区東田地区と高速4号線(大谷ジャンクション)とを連絡する2.4kmの路線で、東田地区及びその周辺地域と小倉都心、黒崎副都心等との連絡強化や戸畑バイパス等市内幹線道路の交通混雑緩和を図るとともに、周辺の地域開発を支援するものです。

### 3 主な事業実績(平成18年度)

#### (1) 営業実績

長野～下道津、小倉駅北～若戸、愛宕JCT～東港JCT、春日～馬場山、枝光～大谷、計49.5kmの年間通行台数は35,313,912台、料金収入は171億1,670万円でした。

また、公社全体における当期の経常収益は547億8,793万円、経常費用が547億2,939万円となり、5,854万円の利益となりました。

#### (利用促進)

回数券販売促進活動の推進はもとより、北九州高速における新たな利用促進策として、観光ルートマップを作成し、福岡市天神地区での街頭キャンペーン等を実施し、PR活動を展開しました。

福岡高速では、ETCの運用を開始し、種々の普及促進キャンペーンを実施し、年度末普及率で48%を達成しました。

#### (2) 建設事業実施概要

高速1～5号線(3号線を除く)

- ・ETC導入に必要な調査・設計を実施しました。

高速4号線 春日～馬場山(31.8km)

- ・前年度に引き続き、道路の老朽化部分に対する大規模補修工事を実施しました。

#### 4 市の関与の状況

(単位：千円)

区 分	平成17年度	平成18年度
出資金の状況	26,174,300	26,869,300
補助金	0	0
委託料	0	49,000
貸付金残高	39,931,562	38,214,757
債務保証契約に係る債務残高	111,783,238	111,246,691

#### 5 資産・収支の状況(平成18年度決算)

##### (1) 貸借対照表

平成19年3月31日現在(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	12,938,247,696	流動負債	12,271,450,524
現金・預金	5,657,933,684	未払金	11,358,161,902
未収収益	32,673	未払費用	862,393,871
未収金	7,271,821,222	預り金	50,527,868
その他の流動資産	8,460,117	前受収益	365,883
固定資産	1,172,766,995,221	仮受金	1,000
事業資産	1,126,462,078,057	固定負債	851,378,523,413
(福岡高速道路)	768,672,764,648	福岡北九州高速道路債券	328,019,000,000
(北九州高速道路)	357,789,313,409	特別転貸借入金	185,231,421,404
事業資産建設仮勘定	43,667,227,641	公営企業金融公庫借入金	13,991,751,196
道路建設仮勘定	43,667,227,641	政府借入金	190,942,576,113
(福岡高速道路)	43,667,227,641	長期借入金	124,489,000,000
(北九州高速道路)	0	退職給与引当金	1,740,718,097
有形固定資産	2,598,958,454	ETCマイレージ引当金	74,713,240
建築物	2,388,107,010	資産見返交付金	6,889,343,363
構築物	82,507,492	特別法上の引当金等	118,240,445,397
機械・装置	24,147,395	道路事業損失補てん引当金	32,313,397,242
車両・運搬具	42,187,144	(福岡高速道路)	19,172,167,809
工具・器具・備品	20,359,413	(北九州高速道路)	13,141,229,433
土地	41,650,000	償還準備金	85,927,048,155
無形固定資産	38,731,069	(福岡高速道路)	97,754,715,355
電話加入権	6,262,969	(北九州高速道路)	11,827,667,200
ソフトウェア	32,468,100	(負債合計)	981,890,419,334
繰延資産	1,067,684,548	基本金	204,305,600,000
債券発行差金	777,735,601	地方公共団体出資金	204,305,600,000
証書借入金諸費	136,068,625	剰余金	576,908,131
調査費	153,880,322	利益剰余金	576,908,131
		(資本合計)	204,882,508,131
資産合計	1,186,772,927,465	負債・資本合計	1,186,772,927,465

## (2) 損益計算書

自 平成 18 年 4 月 1 日  
至 平成 19 年 3 月 31 日 (単位: 円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
経常費用	54,729,392,842	経常収益	54,787,932,723
事業資産管理費	9,542,019,469	業務収入	54,278,610,909
福岡高速道路管理費	5,487,509,275	道路料金収入	53,913,120,318
北九州高速道路管理費	3,963,565,624	(福岡高速道路)	36,796,413,316
福岡駐車場管理費	54,652,662	(北九州高速道路)	17,116,707,002
北九州駐車場管理費	36,291,908	駐車場料金収入	194,122,863
一般管理費	1,054,251,633	(福岡駐車場)	128,355,790
一般管理費	909,524,493	(北九州駐車場)	65,767,073
退職給与引当金繰入	37,231,264	道路業務雑収入	170,874,951
減価償却費	107,495,876	(福岡高速道路)	103,653,221
引当金等繰入	31,367,399,321	(北九州高速道路)	67,221,730
道路事業損失補てん引当金繰入	2,562,375,529	駐車場業務雑収入	492,777
(福岡高速道路)	1,747,294,244	(福岡駐車場)	72,500
(北九州高速道路)	815,081,285	(北九州駐車場)	420,277
償還準備金繰入	28,805,023,792	受託業務収入	466,913,660
(福岡高速道路)	21,291,058,555	福岡高速受託業務収入	410,000,660
(北九州高速道路)	7,513,965,237	北九州高速受託業務収入	56,913,000
受託業務費	466,913,660	負担金事業受入金	1,607,550
福岡高速受託業務費	410,000,660	北九州高速負担金事業受入金	1,607,550
北九州高速受託業務費	56,913,000	業務外収益	40,800,604
負担金事業費	1,607,550	受取利息	14,945,245
北九州高速負担金事業費	1,607,550	雑益	18,017,147
業務外費用	12,297,201,209	設立団体負担金	7,838,212
債券利息	6,107,097,268		
証書借入金利息	1,203,001,007		
借入金利息	4,685,714,695		
借入金等関係諸費	2,100,000		
債券発行差金償却	130,976,011		
証書借入金諸費償却	56,720,653		
雑損	111,591,575		
当期利益金	58,539,881		
合計	54,787,932,723	合計	54,787,932,723

別図

機 構 図

